

## まえがき

山川 清太郎

第24回関西フランス語教育研究会（ランコントル）は、3月26・27両日にわたって大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズで開催され、163名もの参加者を迎えて無事に終了することができました。ランコントル開催を支えてくださった皆様にお礼申し上げます。

今年のランコントルでは「Comment se former à l'enseignement 教師の再教育：さらに良い授業のために何をするか」、「La gestion des différences culturelles d'enseignement-apprentissage 異なる教育・学習文化にどう取り組むか」を主要テーマとした計26のアトリエが開かれ、活発な研究発表や質疑応答がなされました。今年はSaint-Étienne大学のChristian PUREN氏をお招きし、ATELIER-CONFERENCEを開催いたしました。また、日本滞在中であったYves CANIER氏をはじめ、多くの海外在住教員が参加してくださいました。今年度のランコントルはいつもにまして国際的研究会になったのではないのでしょうか。昨年度と同様1日目の午後には出版社プレゼンテーションの枠を設けました。新たな教材を目にする絶好の機会になったと思います。

第24号となる本論集には、アトリエでの発表内容を中心とした計10本の論考が寄せられました。多忙な時期にもかかわらずご執筆いただきました皆様に感謝いたします。

ランコントルでは運営メンバーの負担と経費の削減から、昨年度よりプレアクトの郵送を廃止し、ホームページに掲載することになりました。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

ランコントルの最新情報、過去のアトリエテーマ、論考などの情報はホームページ上 (<http://www.rpkansai.com/>) に掲載しております。どうぞご覧ください。またご意見・ご感想がありましたら、私たち運営委員にお教えいただけたら幸いです。